

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2024年2月26日

事業所名:こぐまの森

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準に基づき十分に確保している。	・面談の際にも十分確保されていると思いました。 ・卓球も出来るので十分スペースがあると思う。 ・広いスペースでのびのび活動している。	
	2 職員の適切な配置	適切な配置を行っている。	・職員が少ないのではないかと思う。 ・手厚い配置である。ネイティブによる英会話や珍しい楽器で楽しませてくれる音楽療法士の先生、OTRもいる。	基準に基づいた配置を行っています。子ども達の特性により、安全に対応ができるよう職員は多めに配置をしております。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	各所に安全な囲いやドアを設けている。入口にはオートロックを設備。	・とても分かり易く配慮いただいている。 ・もっと広い部屋で動き易いようにしてほしい。 ・もう慣れているので、本人も把握して分かり易くなっていると思う。	今後も安全にはしっかりと配慮し、支援を行って参ります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	朝夕の掃除、消毒などを徹底している。	・子供も居心地が良いと通所楽しみにしています。 ・ボール遊びとか走り回るには狭い。 ・おもちゃ遊びも楽しめる空間。広く活動できるのでよい。 ・快適です。 ・床が一面張り替えられ、気持ちよさそう。毎日靴下も足裏もきれいで帰ってきます。	引き続き換気、清掃、消毒をこまめに行い、安心して過ごしていただけるよう室内を清潔に保ちます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月、振り返りレポートを全員提出。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は実施していない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月、目的に合わせ会議や研修を実施。毎年法人全体での研修も行っている。(救命講習や虐待防止研修等)その他外部研修も参加。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	入所時の面談やその後の面談、日頃の課題に基づき、計画表を作成している。作成完了後、会議にて職員全員で目標を共有。	・本人にも保護者にも分かり易く、的確に作成されている。 いつも計画書いて安心して利用出来ている。	今後もしっかりとアセスメントを行い、計画表の作成に努めて参ります。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日頃の子どもの状況を観察・把握し、子どもに合った個別および集団活動を組み合わせた計画表を作成。		
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	毎月おたよりやカリキュラム表をICTにて配信。	・とても分かり易く、日常生活においても生活に活かしやすい。 ・計画された支援が実行され達成できたこともあり、成長を感じる。 ・半年に一度、支援計画の確認を一緒にして頂き、支援内容と共に子供の成長もよくわかる。	今後も保護者の方々にお分かり頂きやすい支援内容、計画を作成して参ります。私どもにとってもお子様方の成長はひとつひとつが大変喜ばしく、モニタリング会議の際も職員の愛情がたくさん感じられます。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画の目標を職員全員が認識し、個別療育や集団生活の中でそれぞれの目標に合わせて支援を行っている。	・目的がしっかり設定されており、本人も理解していると思う。	今後も一人ひとりのお子様方の目標に基づき、支援を行って参ります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	1日毎に午前と午後でカリキュラム(活動プログラム)を分けて設定している。個別療育、制作、机上課題、運動、SSTなど。	・プログラミング授業などがあるといいかと思えます。 ・子供に合った(ドライブ)プログラムを考えて下さりありがとうございます。YouTubeで行った所を指さして教えてください。	様々なカリキュラムの継続、新しいカリキュラムも積極的に取り組んでいく予定です。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園や小学校の長期休暇中はご要望に応じて、午前からの療育も対応。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	四季や月などに応じたイベント、1日毎に異なるカリキュラムの実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な工夫をしていただき、子供も楽しく取り組んでいる。 ・曜日ごとにプログラムを楽しんでいるのを良いと思う。 ・工夫ずっとされている。 ・曜日ごとのカリキュラムに専門の方が毎回楽しませてくれている。季節の風物詩や年中行事、イベント、風習など体験している。 ・活動プログラム内容が何をして何に支援出来ているのかは、どちらともいえない。 	今後も子ども達に様々な体験をしていただくためイベントは豊富に行って参ります。カリキュラムも日によって異なっており、楽しくプログラムに参加していただいております。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員間の連絡網にておたよりやカリキュラム表を確認。事前に支援内容の確認、役割分担を行っている。専門の先生が来られたら子どもたちの変わった様子や気になることなど随時相談。		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日報により各職員間で気づいた点や注意点を共有化している。常勤職員が多いので日頃から口頭でも情報共有は徹底している。		
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日報に日々の様子を記入し、児発管の検閲を得ながら継続実施している。健康面(体温等)も記録。		
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	4月と10月に実施。		
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	必要のある場合は相談支援事業所と連絡を取るなどし、関係機関と情報共有している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者がいない。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者がいない。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校や公的な児童発達支援センターからは情報を得ている。幼稚園や保育園へご見学に行かせていただいたり、担任の先生と電話で情報を共有するなどしている。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	放課後等デイサービスでの様子や気になる点、支援計画書の内容などを情報提供していく。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	積極的に受講している。		
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	法人内に系列の園があるため、イベントや戸外活動など定期的に交流機会がある。	・図書館やその他の施設等外部との関わりを作っていたらいいかな。 ・活動する機会があるんじゃないかな。 ・地域の方々とふれあいの機会があるようで、温かさを感じる。特に他事業所との交流企画は回数も多くとても喜んでいる。	色々な場所で事業所外の子ども達、大人達との交流の機会を設けている。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施していない。		
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書、契約書、パンフレットなどで、見学時や入所時に説明している。	・丁寧に説明頂いている。 ・聞いたからお答えしていただけるのが早いので大丈夫です。	今後もしっかりと対応して参ります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談にて計画書を提示し、説明している。	・的確で丁寧に説明頂いている。	保護者の方々と面談を行い、計画書について、お子様について、様々なお話をさせていただいております。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	特別に時間を設定していないが、ノートや電話を通じ支援の方法を説明したり成功事例を報告することはある。	・的確で丁寧に説明頂いている。 ・もっと色々教えてほしい。 ・相談し易い環境で、すぐに対応頂きアドバイスをもらっている。	積極的に保護者の方々と支援内容の共有を行って参ります。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートに詳細を記載するとともに、送迎時の会話で共通理解が図れるよう努めている。	・小さなことでも相談に乗っていただいたり、状況を気に留めていただいている。 ・アプリによるメッセージと数枚の画像で活動の報告を帰宅時に配信していただけるので、様子がよく分かる。 ・毎日、連絡帳を見るのが楽しみです。いつも詳しくありがとうございます。 ・お迎え時、よく話をさせていただきます。	引き続き連絡アプリや送迎時にて、お子様の様子の詳細をお知らせ致します。ICT導入後、ひとりひとり写真付きでの連絡ノートとなったので、より日頃の様子を確認いただきやすくなっております。今後もお子様の状況の共通理解は徹底して参ります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	電話をいただいたり、送迎時に相談を受けることがあるので、適宜対応している。	・大変ありがたく支援いただいております、親子で励みにしている。 いつでも相談し易い環境で、困りごとにも専門的な助言をいただいております。	今後も保護者の方々とともにお子様の成長を感じながら、職員との信頼関係を築いていただけるよう努めて参ります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	働いている保護者が多いことや、他の保護者と関わりを希望しない保護者もいるため、現在は実施していない。	・先日参加。外部の方を招いたりしていただき、有難い。 ・保護者会をしてほしい。 ・いつまで経っても1~2学年上のお子さんの保護者と話できる機会が欲しい。お世話になった当時からずっと。 ・保護者会を開催してほしい。 ・案内があり、あいにく参加できなかったが、また機会があれば参加したい。	今年度保護者会を開催し、ご参加いただいた皆様から喜びのお声をたくさんいただいたので、今後も定期的に開催を検討しております。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情連絡先を契約書に記載。法人全体で策定した『苦情処理対応マニュアル』があり、それに沿った体制、手順で迅速に対応する。	・とても細やかに対応していただいている。 ・子供からヒヤリとした話を聞いたので、問い合わせたところ、すぐにカメラで状況確認、職員がどう対応したかまできっちり説明してください。ヒヤリは子供の誤解と明確に分かり、安心した。問い合わせでよかったと思う。	安心して通所いただけるよう、今後もお子様、保護者の方々にしっかりと対応を行って参ります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	イラストや写真、マクソン方式で対応している。保護者の方々は連絡アプリにて一人ひとりの様子を写真付きで共有している。保護者の方からのご連絡もアプリにて手軽にしていいただけるシステムになっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・とても細やかに対応していただいている。 ・いつも大事に接して下さい、親として嬉しい。 ・色々な情報は教えてほしい。 ・いつも丁寧に迅速な対応をしていただいている。 	言葉が未発達のお子様とも様々な関わり合いの中から意思の疎通を図っております。保護者の方々は職員とのコミュニケーションや情報共有を徹底してまいります。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事内容や事業所の予定を定期的に発信している。えんフォト(写真)でこぐまの森での様子が見られるようになっている。毎月更新。	<ul style="list-style-type: none"> ・月のおたより、日々通所の様子も写真や言葉を添えて頂くなど、多岐にわたり発信していただいている。 ・11月23日のお話はよかったです、3ヶ月に1回としていただきたいです。 ・細かくされている。 ・ICTサービスを活用し積極的に発信いただけるので分かり易い。 	今後もICTを積極的に活用し、定期的に配信を行って参ります。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員全員、保管に注意し対応している。また秘密保持誓約を締結し、退職後についても遵守してもらっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・十分対応されている。 	今後もしっかりと対応致します。
非常時等	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	法人全体で策定したそれぞれのマニュアルがあり、それに沿った体制、手順で迅速に対応する。保護者に緊急時の避難場所や連絡網のしおりを渡す等周知徹底。感染症の一覧(感染症名、感染しやすい期間、登所の目安が記載)がある治癒証明書も入所時に配布	<ul style="list-style-type: none"> ・説明いただいている。 	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	防災頭巾を使用し、定期的に避難訓練を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練、学びの時間を頂いている。 ・避難訓練があるのかはわからない。 ・防災頭巾をかぶり、先生のお話を聞く姿を見ました。よく学べていると思う。 	今後も災害や不審者対応の訓練を月に1回以上行って参ります。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	法人全体で策定した『虐待防止マニュアル』があり、法人全体で講師を招き年に一度全員が参加で虐待防止研修を行っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
子どもの対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行ったことはない。やむを得ずにしても行わなければならないような該当児童はいない。	
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	入所時に保護者から情報を得ており、系列化の管理栄養士の指示に基づく対応をしている。	
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	発生した場合はヒヤリハットの記録様式に記述し、理事長や児発管をはじめ職員全員で共有し再発に備えている。	